



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社  
コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武田 安夫  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 須多 敦子  
四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

TEL 079-235-6005  
平成25年12月3日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	78,274	2.2	3,998	40.0	4,002	75.8	2,521	87.8
25年3月期第2四半期	76,582	△10.0	2,855	△55.2	2,276	△62.1	1,342	△62.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 5,040百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 407百万円 (△84.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	15.63	—
25年3月期第2四半期	8.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	203,051	102,188	50.0
25年3月期	198,771	97,151	48.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 101,563百万円 25年3月期 96,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	0.00	2.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、3月31日(期末日)を基準日とする配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご参照ください。)

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,300	18.1	7,300	381.2	7,000	319.2	4,300	744.5	26.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	167,124,036 株	25年3月期	167,124,036 株
26年3月期2Q	5,795,116 株	25年3月期	5,787,262 株
26年3月期2Q	161,333,438 株	25年3月期2Q	161,350,512 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

3月31日(期末日)を基準日とする配当につきましては、事業環境の先行きが不透明であるため、現時点では具体的な金額は未定であります。配当予想額につきましては、今後の事業環境を見極めつつ検討を行い、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

## 【添付資料】

### (目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
参考資料	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）のわが国経済は、円高の修正や政府の経済政策への期待等を背景として、株価の上昇や企業収益の回復など、持ち直しの傾向が明らかとなりました。また、世界経済も新興国の経済成長鈍化や欧州経済の低迷などがあるものの、米国経済が比較的堅調であったことなどにより緩やかな成長を続けました。

特殊鋼業界におきましては、昨年秋口に、尖閣問題を契機として自動車分野を中心とする需要の停滞とそれに伴う大幅な在庫調整が発生しましたが、今年に入ってから順調な回復をみせております。

このような中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、販売数量が前年同期に比べ増加したことなどにより、前年同期比16億91百万円増の782億74百万円となりました。経常利益は、電力・燃料価格の上昇などがありましたが、販売数量の増加やコストダウンの実施に注力したことに加え、人件費の減や為替差益の計上などにより、前年同期比17億25百万円増の40億2百万円となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損や固定資産除売却損の減少などにより、前年同期比11億78百万円増の25億21百万円となりました。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

**鋼材事業**

当第2四半期連結累計期間の売上高は、昨年発生した需要の停滞とそれに伴う大幅な在庫調整からの回復が順調に進み、販売数量は前年同期に比べ増加しましたものの、鉄スクラップ・サーチャージ制度の下、鉄スクラップ価格の下落を反映した販売価格の下落などにより、前年同期比4億1百万円減の701億22百万円となりました。営業利益は、電力・燃料価格の上昇などがありましたが、販売数量の増加などにより、前年同期比4億21百万円増の34億33百万円となりました。

**特殊材事業**

耐熱・耐食合金、金属粉末製品などの製造および販売を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比9億47百万円増の39億35百万円、営業利益は前年同期比2億44百万円増の6億35百万円となりました。

**素形材事業**

販売数量の増加などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8億21百万円増の88億72百万円、営業利益は前年同期比68百万円増の9億28百万円となりました。

**その他**

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1億52百万円減の5億89百万円、営業利益は前年同期比6百万円減の20百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、現金及び預金、有形固定資産は減少したものの、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加などにより、2,030億51百万円（前期末比42億79百万円増）となりました。

負債残高は、支払手形及び買掛金は増加したものの、借入金の減少などにより、1,008億63百万円（前期末比7億56百万円減）となりました。

純資産残高は、四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加などにより1,021億88百万円（前期末比50億36百万円増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、これまでの円高修正や、企業心理の改善などにより、回復基調の継続が期待される一方で、政府の成長戦略の具体的な実施がまだこれから先となることや、新興国の経済成長鈍化や国際競争の激化、また、そのような環境下における、わが国電力価格値上問題などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループとしては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力するとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

以上を総合的に勘案し、平成26年3月期の通期業績予想につきましては、平成25年7月25日に公表させていただいた数値を下表のとおり修正しました。

## 平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年7月25日)	百万円 162,000	百万円 6,800	百万円 6,500	百万円 4,000	円 銭 24.79
今回修正予想(B)	163,300	7,300	7,000	4,300	26.65
増減額(B-A)	1,300	500	500	300	—
増減率(%)	0.8	7.4	7.7	7.5	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期通期)	138,306	1,516	1,670	509	3.16

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,684	20,499
受取手形及び売掛金	41,433	48,129
商品及び製品	10,200	11,006
仕掛品	21,263	21,075
原材料及び貯蔵品	14,316	16,099
その他	4,752	2,869
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	114,644	119,674
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	46,033	43,774
その他(純額)	22,906	22,487
有形固定資産合計	68,939	66,261
無形固定資産	757	733
投資その他の資産	14,429	16,383
固定資産合計	84,127	83,377
資産合計	198,771	203,051
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,341	14,875
短期借入金	40,391	40,449
未払法人税等	149	595
賞与引当金	1,410	1,398
役員賞与引当金	—	33
その他	9,763	10,165
流動負債合計	65,057	67,516
固定負債		
長期借入金	33,936	30,919
退職給付引当金	935	588
役員退職慰労引当金	72	81
環境対策引当金	213	58
その他	1,405	1,699
固定負債合計	36,562	33,346
負債合計	101,620	100,863

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,596	22,596
利益剰余金	54,474	56,995
自己株式	△1,772	△1,776
株主資本合計	95,480	97,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,421	3,159
為替換算調整勘定	△263	405
その他の包括利益累計額合計	1,158	3,565
少数株主持分	512	624
純資産合計	97,151	102,188
負債純資産合計	198,771	203,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	76,582	78,274
売上原価	67,359	68,211
売上総利益	9,222	10,063
販売費及び一般管理費	6,367	6,064
営業利益	2,855	3,998
営業外収益		
受取利息	22	21
受取配当金	78	68
為替差益	—	300
その他	144	174
営業外収益合計	245	566
営業外費用		
支払利息	381	324
その他	443	238
営業外費用合計	825	562
経常利益	2,276	4,002
特別利益		
土地売却益	17	4
特別利益合計	17	4
特別損失		
固定資産除売却損	292	93
投資有価証券評価損	856	—
特別損失合計	1,148	93
税金等調整前四半期純利益	1,145	3,912
法人税、住民税及び事業税	247	556
法人税等調整額	△463	785
法人税等合計	△216	1,341
少数株主損益調整前四半期純利益	1,361	2,570
少数株主利益	18	49
四半期純利益	1,342	2,521



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,361	2,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,059	1,737
為替換算調整勘定	96	577
持分法適用会社に対する持分相当額	9	154
その他の包括利益合計	△953	2,469
四半期包括利益	407	5,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379	4,928
少数株主に係る四半期包括利益	27	111

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	65,476	2,987	8,051	76,516	66	76,582	—	76,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,047	—	—	5,047	675	5,723	△5,723	—
計	70,524	2,987	8,051	81,563	741	82,305	△5,723	76,582
セグメント利益	3,012	391	860	4,263	27	4,291	△1,435	2,855

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△1,435百万円は、棚卸資産の調整額△1,453百万円およびセグメント間取引消去17百万円であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	65,381	3,935	8,872	78,189	85	78,274	—	78,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,741	—	—	4,741	504	5,245	△5,245	—
計	70,122	3,935	8,872	82,930	589	83,520	△5,245	78,274
セグメント利益	3,433	635	928	4,997	20	5,018	△1,019	3,998

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△1,019百万円は、棚卸資産の調整額△1,050百万円およびセグメント間取引消去30百万円であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 参考資料

## 平成26年3月期 第2四半期決算発表

## 1. 当第2四半期の業績と通期の予想

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	通期	前期	増減額	増減率
	(実績)	(実績)			(予想)	(実績)		
売上高	78,274	76,582	1,691	2.2	163,300	138,306	24,993	18.1
営業利益	3,998	2,855	1,143	40.0	7,300	1,516	5,783	381.2
経常利益 (ROS)	4,002 (5.1)	2,276 (3.0)	1,725 (2.1)	75.8	7,000 (4.3)	1,670 (1.2)	5,329 (3.1)	319.2
当期純利益	2,521	1,342	1,178	87.8	4,300	509	3,790	744.5
設備投資	2,398	12,154	△9,755	△80.3	5,000	14,716	△9,716	△66.0
減価償却費	5,344	5,432	△87	△1.6	11,000	11,581	△581	△5.0
棚卸資産評価損影響	8	△263	271	—				
〃 を除く経常利益	3,993	2,539	1,454	57.3				

(参考) 四半期業績推移

(単位：百万円、%)

	25年3月期				通期	26年3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期		4-6月期	7-9月期
売上高	40,239	36,342	29,768	31,955	138,306	37,578	40,696
営業利益	2,288	567	△1,523	185	1,516	2,197	1,800
経常利益 (ROS)	2,057 (5.1)	218 (0.6)	△1,208 (△4.1)	602 (1.9)	1,670 (1.2)	2,355 (6.3)	1,646 (4.0)
当期純利益	754	588	△459	△374	509	1,553	967

## 2. 当第2四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 変動費のコストダウン	11	1. 原燃料価格	29
2. 販売数量・価格・構成	10		
3. 固定費の減少	10		
4. 営業外損益	6		
5. 棚卸資産評価損	3		
6. その他	6		
計 (A)	46	計 (B)	29
		差引 (A) - (B)	17